

2024年7月30日提出

日本機械学会 計算力学部門 「解析・設計の代替モデリング研究会」
第9回研究会 報告書

下山 幸治 (九州大学)

日時：2024年7月14日(水) 13:00-17:00

場所：【対面】日本機械学会 第1・2会議室

【オンライン】Microsoft Teams

参加人数：49名(対面10名、オンライン39名、参加申込済で当日不参加のものを除く)

プログラム

13:00-13:05	下山 幸治 (九州大学) 挨拶
13:05-14:05	下山 幸治 (九州大学) 【話題提供】 代替モデリング研究における現状と将来への提言
14:05-14:15	休憩
14:15-15:15	山崎 渉 (長岡技術科学大学) 【話題提供】 代替モデリング及び機械学習技術を活用した最適設計技術の 検討
15:15-15:25	休憩
15:25-16:25	小木曾 望 (大阪公立大学) 【話題提供】 スマートアンテナのレジリエント運用のための不確定性モデル 構築
16:25-17:00	議論

第9回研究会では、当研究会の主査及び幹事の3名より、各々の観点から、ここ数年における代替モデリング研究に関する現状・将来提言などについて話題提供した。各講演について、大学・研究機関・企業に所属する多くの参加者から様々な質問を頂戴し、講師の方々からの回答を含めて、活発にご議論いただいた。

今回の第9回が、当研究会(2019年10月～2024年9月)としての最終回となった。2024年10月より、新研究会「数理から知的活動に繋げる代替モデリング研究会」(2024年10月～2029年9月)として、若干スコープを変えて活動する。

当日の様様

